

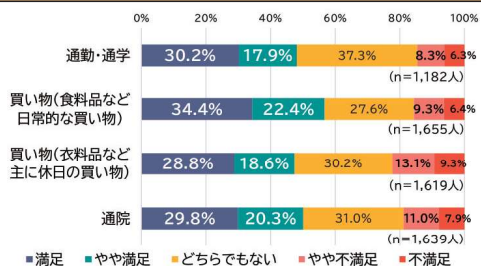
外出の満足度は45%程度

外出の満足度については、回答者のうち45%程度の方が「満足」または「やや満足」と回答しています。

目的別では、「食料品など日常的に行う買い物」が最も満足度が高く、「衣料品など主に休日に行う買い物」が最も満足度が低いという結果になりました。

▶グラフ②

外出の満足度（目的別）

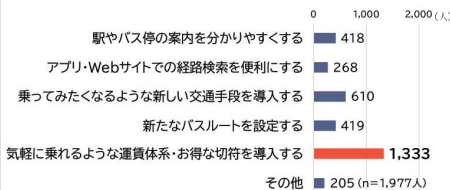


運賃等に対する要望が最多

今後必要な施策としては、「気軽に乗れるような運賃体系・お得な切符を導入する」への要望が最も多くなっていました。

その他自由意見として、バス車両の小型化やバス・鉄道の本数増加、バス停周辺環境の改善等の要望もありました。

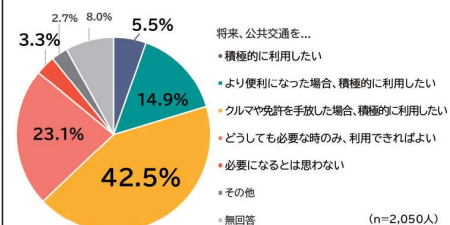
▼グラフ④ 今後必要な施策



将来の公共交通の利用に対しては前向き

将来の公共交通利用意向については、「将来、クルマや免許を手放した場合、積極的に公共交通を利用したい」との回答が半数近くと最も多くなっており、公共交通利用については概ね前向きな意見が多いことが分かりました。

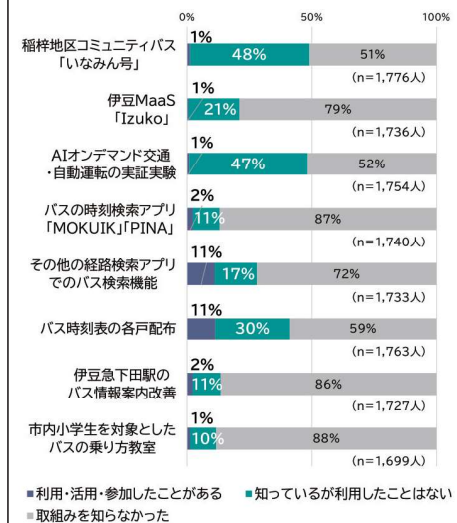
▼グラフ⑤ 将来の公共交通利用意向



取組みの認知度は低い

これまでに市で実施された公共交通に関する取組みについて、認知度は低く、PR・広報等の面で改善の余地があることが分かりました。

▼グラフ③ これまでの取組みの認知度



「下田市地域公共交通計画」は、市や交通事業者だけではなく、市民の皆さまと一体になって作り上げていくものです。今回のアンケート調査の結果や頂いたご意見を元に、利用者のニーズにあった施策を検討します。また、今後、各地域でのヒアリングや、パブリックコメントの実施も予定しております。引き続き、市民の皆さまの声を反映しながら計画策定を進めていきます。

みんなで「創る」公共交通

公共交通

～アンケート調査を実施しました～

問合せ先 建設課都市住宅係 ☎2219

市では、昨年度から2か年をかけて現状の公共交通計画の検証を行い、新たな「下田市地域公共交通計画」の策定を行っています。

この計画の策定に向け、令和3年12月にアンケート調査を実施しました。配布5,000票に対して、回答数：2,050票、回収率：41.0%と、多くの市民の方にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今後、下田市における公共交通のあり方や、必要な施策を定める際の基礎資料とさせていただきます。



下田市における 地域公共交通の現状

公共交通利用者は年々減少傾向にあり、新型コロナウイルス感染拡大以降、特に厳しい状況です。人口減少等により、今後、さらなる利用者の減少が想定されています。市としては、バスの運行等に対し財政負担を行い、路線の維持に努めています。このまま利用者の減少が続くと、路線の維持が困難となってしまいます。一方で、自動車運転できない交通弱者や、観光面での公共交通利便性の確保も重要な課題です。今後、持続可能な交通体系の構築に向けた施策が必要となっています。

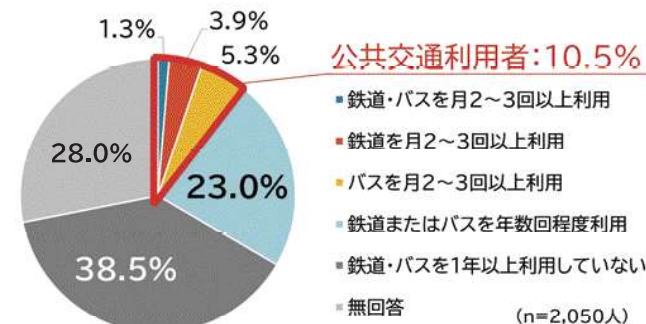
通勤・通学や通院等、私たちの生活に欠かすことのできない公共交通。しかし、近年、公共交通の利用者は減少し続け、存続が危ぶまれていきます。皆さまも公共交通について、一緒に考えてみませんか？

公共交通の利用者は全体の1割程度

アンケート調査の結果、公共交通を定期的に（月2～3回以上）利用する方は、回答者のうち1割程度でした。

▶グラフ①

公共交通利用状況



※グラフ中のnは回答者数を表しています